

とよさと

議会だより

TOYOSATO
ASSEMBLY

第53号

2013年5月



議会改革を目指し 新たな飛躍を

3月定例会

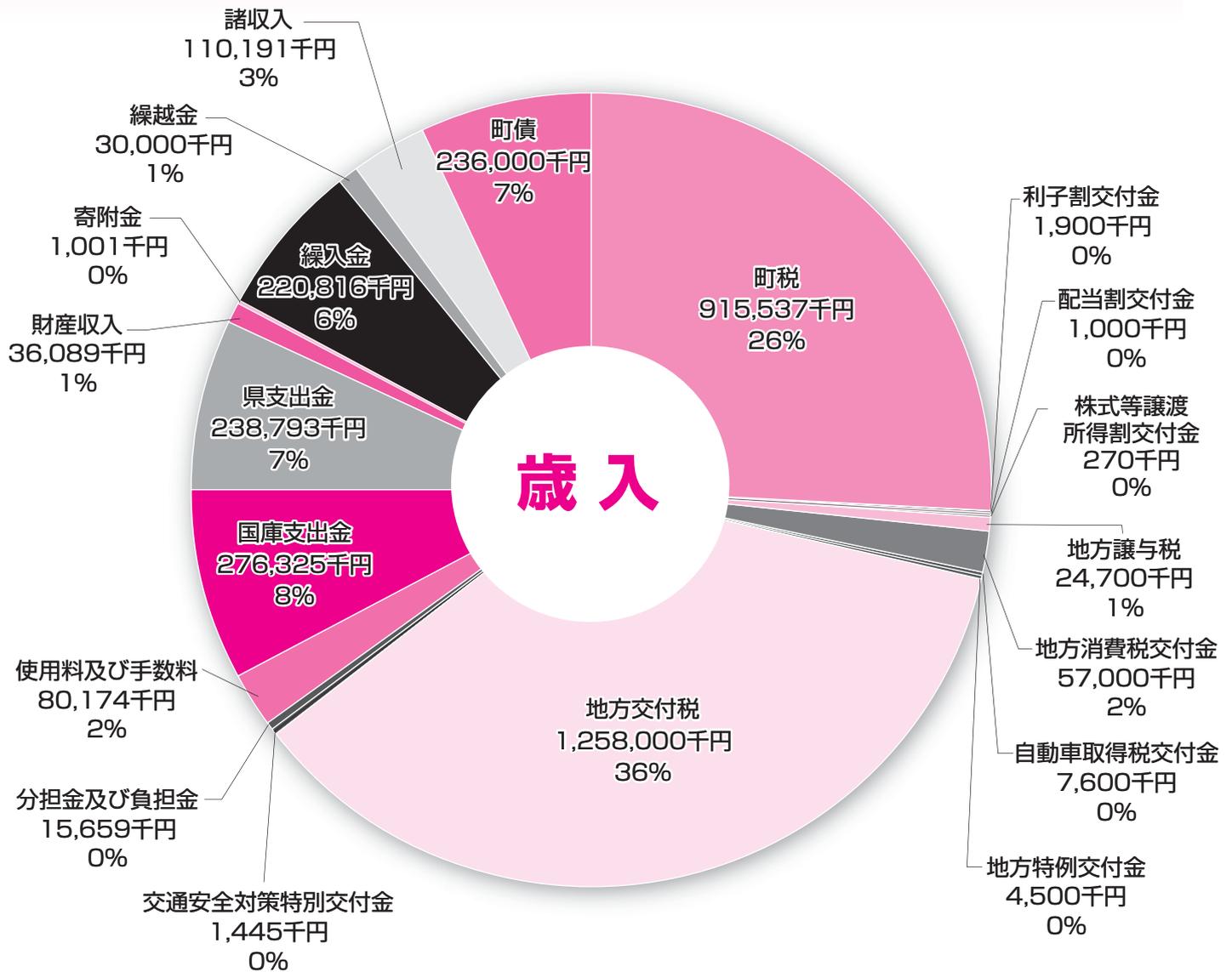
平成25年度一般会計当初予算	2~3
今年の予算の目玉	4~5
審議の結果	6~7
常任委員会での質疑	8~10
ズバリ町政を問う 8名の熱弁	11~19
改良住宅譲渡事業の研修を実施	20

6月定例会は
6月17日(月)
開催予定です



江州音頭発祥の地

施設整備・福祉費積極予算



自主財源	依存財源
1,409,467千円	2,107,533千円
40.1%	59.9%

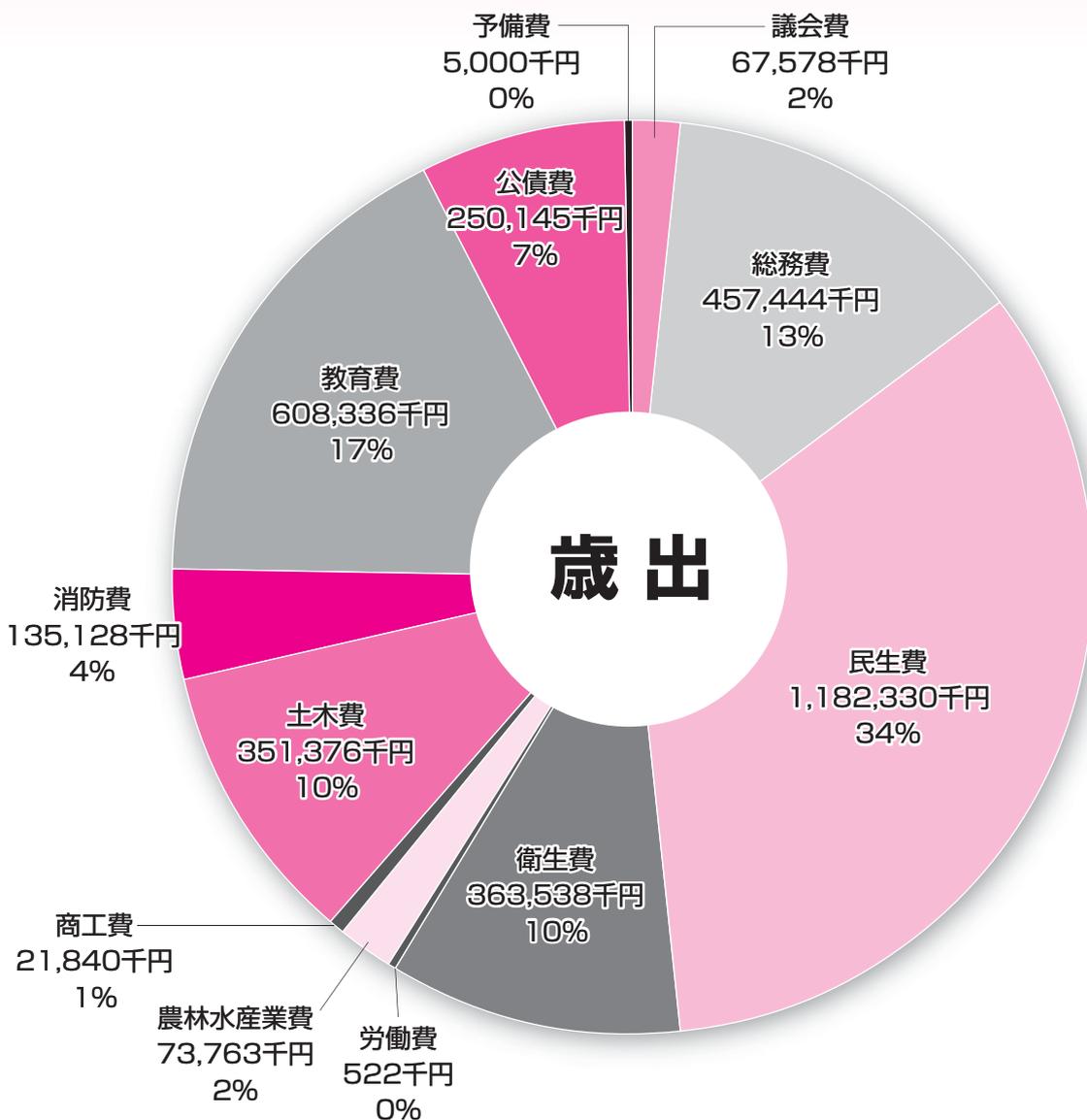
歳入
(入ってくるお金)

今年度予算は、昨年度比10,000千円の削減となりました。

歳入の主な財源である町税は、前年度比2.2%増の9億15,537千円となり、国からの地方交付税は12億58,000千円の予算となりました。財源を確保するため、財政調整基金から76,529千円を繰入しての予算編成となりました。

平成25年度一般会計当初予算可決

35億1,700万円



3月定例会を3月8日から22日までの会期で開催しました。町長から提出された案件は37件（内訳は当初予算6件、補正予算6件、条例改正17件。同意2件、その他6件）でした。

歳出 (出していくお金)

目的別に分け、前年度比総務費17,480千円・3.7%減、民生費が48,013千円・4.2%増、衛生費が30,819千円・9.3%の増、土木費が19,189千円・5.8%の増、教育費が64,868千円・9.6%の減となっています。



『笑顔がたえない町づくり』

算の目玉

各特別会計当初予算内訳

区 分	前年度予算額	本年度予算額	増 減 額	増 減 率
国民健康保険事業	755,869	823,301	67,432	8.9
簡易水道事業	338,667	312,866	△ 25,801	△ 7.6
下水道事業	287,219	315,490	28,271	9.8
介護保険事業	552,499	518,665	△ 33,834	△ 6.1
後期高齢者医療事業	59,151	52,238	△ 6,913	△ 11.7
合 計	1,993,405	2,022,560	29,155	1.5

区 分	前年度予算額	本年度予算額	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	3,527,000	3,517,000	△ 10,000	△ 0.3
特 別 会 計	1,993,405	2,022,560	29,155	1.5
合 計	5,520,405	5,539,560	19,155	0.3

改良住宅譲渡推進事業 事業費 44,087千円

改良住宅譲渡に向けての修繕および登記事務の推進

乳幼児、小学生、重度心身障害者、高齢者、母子・父子家庭、ひとり暮らし寡婦等における医療費の自己負担分の助成を行う。今年度より中学生についても助成を行う。

福祉医療費助成事業拡充 事業費 64,502千円

同意

副 町 長

村西 康弘

固定資産評価審査委員会委員

西山 與喜男

今年の予

簡易水道整備事業

事業費 109,690千円

中山道区間の配水管の布設替えならびに
舗装の復旧工事等の実施



豊日中学校ランチルーム 建設事業

事業費 173,040千円

給食センター整備に向け、新たに豊日中
学校にランチルーム建設



審議の結果

○=賛成 ×=反対

平成25年3月 定例会	議 員 名											結果	
	前田	西山	西澤博	鈴木	西澤清	西村	佐々木	中島	河合	今村	北川		堀
豊郷町副町長の選任同意	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○		可決
固定資産評価審査委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少および滋賀県市町村職員退職手当組合同約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
滋賀県市町村議会議員公務災害補償等組合同約の一部変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
湖東広域衛生管理組合同約の変更につき議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷スポーツ公園施設の指定管理者の指定につき議決を求めること	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×		可決
豊郷町使用料および加入金の徴収に関する条例の一部改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷町課設置条例の一部改正案	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○		可決
豊郷町職員の給与に関する条例の一部改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷町同和対策審議会設置条例の一部改正案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷町新型インフルエンザ等対策本部条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町道路法に基づく町道の構造に関する技術的基準を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく移動等円滑化のために必要な道路の構造等に関する基準を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町道に設ける道路標識の寸法を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町準用河川管理施設等の構造を定める条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町営住宅の整備基準に関する条例案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決

平成25年3月 定例会	議 員 名												結果
	前田	西山	西澤博	鈴木	西澤清	西村	佐々木	中島	河合	今村	北川	堀	
豊郷町営住宅管理条例の一部改正案	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		可決
豊郷町道路占用料徴収条例の一部改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
豊郷町議会「特別委員会の設置」	異議なし												
平成24年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成24年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成24年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	×	○		可決
平成25年度一般会計予算（修正案）	×	×	×	○	×	×	×	欠席	×	○	×		否決
平成25年度一般会計予算（原案）	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	×	○		可決
平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	×	○		可決
平成25年度簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成25年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
平成25年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	×	○		可決
平成25年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	欠席	○	×	○		可決
年金2.5%の削減中止を求める請願	○	×	×	○	×	×	×	欠席	×	○	×		不採択
県立高校の統廃合に関する請願（継続審査）	×	×	×	○	×	×	×	欠席	○	○	×		不採択
豊郷町先人を偲ぶ館の指定管理者の指定につき議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
配水管布設替Ⅰ期工事舗装本復旧工事請負契約の変更につき議決を求めること	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○		可決
豊郷町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部改正案（修正案）	○	○	○	×	×	×	○	欠席	×	×	×		否決
豊郷町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部改正案（原案）	×	×	×	×	○	○	×	欠席	○	×	○		否決

（議長は採決に加わらないため空白）

常任委員会で の質疑

文教民生常任委員会

3月13日

委員名	3/13 出席
中島	欠席
北川	○
前田	○
西山	○
鈴木	○
西澤清	○
西村	○
今村	○

平成24年度国民健康保険会計補正予算

システム開発委託料
126千円の内訳。

70歳以上の自己負担金
2割が1割に延長された
ためシステムの改修費用。

保険財政共同安定化事
業拠出金の減額理由。

20万円から80万円まで
の医療費に84%拠出して
いる過去3年間の平均額
が下がったため。

質疑終了後、討論なし
採決の結果、全員賛成
(6-10)で可決

平成24年度介護保険会計補正予算

第1号被保険者の人数は
11月現在で1,648人。

趣旨普及費の内容。

介護保険利用ガイドの
作成費。

民間委託の予定であつ
たが、自ら来庁すること
になったため。

質疑終了後、討論なし
採決の結果、全員賛成
(6-10)で可決

平成24年度後期高齢者医療会計補正予算

特別徴収保険料の減額
理由。

当初、県下の保険料率
が確定されておらず暫定
で積算したため。

平成25年度国民健康保険会計補正予算

滞納者人数および保険
証発行人数は。

滞納状況は160件(2
月末現在)。短期保険証37
世帯、資格証明書37世帯
に発行。

保健事業等保険者支援
負担金とは。

新規事業で国保連合会
に支出。

国民健康保険運営協議
会とは。

予算、医療費の動向等
を協議し、6人(地域・
団体・医師等)で構成。

一般被保険者療養給付
費が昨年に比べ約
31,000千円増額の根

質疑終了後、討論なし
採決の結果、賛成多数
(4-2)で可決

拠。

現在の見込みで計上し
ている。

特定健康診査等事業の
内容。

国保加入者40〜74歳ま
での検診経費。

質疑終了後、反対討論あり
賛成多数
(4-2)で可決

平成25年度介護保険会計補正予算

介護保険料が前年度
94,940千円、今年度
90,330千円の減額理
由。

調定額で推計している。
前年度4,980円で算定。
今年度4,680円で算定
したため。

地域包括支援センター
の活動内容。

介護予防事業では、実
態把握をチェックリスト
により行い、転倒予防教
室などを実施。包括的支

質疑終了後、反対討論あり
賛成多数
(4-2)で可決

拠。

援事業として、介護予防
ケアマネージメントで計
画を立て、高齢者の相談
支援などを実施。任意事
業として、福祉用具に関
する届け出や住宅改修の
調査などを実施。

高額介護サービス費
8,830千円の内容。

利用者の負担が一定の
上限額を超えた場合申請
により払い戻される。

質疑終了後、反対討論あり
採決の結果、賛成多数
(4-2)で可決

平成25年度後期高齢者医療会計補正予算

特別徴収保険料の減額
理由。

暫定的な率で按分した。
特別徴収、普通徴収保
険料の人数は。

特別徴収827人、普
通徴収104人。

後期高齢者医療広域連
合納付金の減額理由。

質疑終了後、反対討論あり
賛成討論の申し
出あり
採決の結果、賛成少数
(2-4)で不採択

分。

歳入を歳出に充当する

質疑終了後、討論なし
採決の結果、賛成多数
(4-2)で可決

年金2.5%の削減中止を 求める請願

質疑終了後、
反対討論、賛成討論の申し
出あり

採決の結果、賛成少数
(2-4)で不採択

県立高校の統廃合に関す る請願

反対討論、賛成討論の申し
出あり

採決の結果、賛成少数
(2-4)で不採択

県立高校の統廃合に関す る請願

反対討論、賛成討論の申し
出あり

採決の結果、賛成少数
(2-4)で不採択

予算特別委員会

3月14日
3月15日

委員名	3/14 出欠	3/15 出欠
西山	○	○
鈴木	○	○
前田	○	○
西澤博	○	○
西澤清	○	○
西村	○	○
佐々木	○	○
中島	欠席	欠席
河合	○	○
今村	○	○
北川	○	○
堀	○	途中退席

平成24年度一般会計補正予算

町民税の増額理由

平成24年度に税率の引き下げ予定であったが、弊社の業績アップが主な原因。

固定資産税の滞納繰越増額の理由

主な要因は、大口滞納者の収納増額。

滞納者に対して、契約書等が取れているのか

納付誓約を行っている。

たばこ税の増額の要因は

平成23年度実績に基づき算定している。実績より上回った。

物品貸付収入の減額内訳

レンタサイクル貸付料、

8台分。

システム開発委託料の減額理由

機器購入を入札（プレゼンテーション）で行ったため。

どのメーカーになったのか

応募は3社。最終的には、NEC、富士通の2社で、NECに決定。

電子計算管理費の備品購入費1,000万円の減額内訳

職員のノートパソコン（120台）とプリンター（7台）分の減額。

防災施設整備事業費補助金を実施した字は

6字分計上したが、要望字はなかった。

2/3補助で補助率が高いが、要望がないのはなぜか

300万円の2/3補助で限度額200万円。字負担金が100万円となり、字の負担が高いの

ではないかと考える。

物品貸付収入の減額内訳

レンタサイクル貸付料、8台分。

農業者戸別所得補償制度事業、事業名が変更するの

経営所得安定対策に変更。

制度内容が変更されるの

制度内容は、大きく変わらない。

社会資本整備総合交付金の概要説明

国の公共事業の追加事業。（緊急経済対策）

改良住宅防水工事何年補償か

設計の段階で補償を含め明記していく。

制度内容が変更されるの

制度内容は、大きく変わらない。

質疑終結後、討論なし

採決の結果、全員賛成（9-0）で可決

平成25年度一般会計予算

土地開発基金利子は、今後どうなるの

廃止の方向。

湖東定住自立圏構想推進交付金の内訳

1市4町の愛のりタクシーの交付金。

特別職給は、町長分だけなのか。副町長の特別職給は計上されないのか

6月補正で計上する予定。

同意案件が提出されているので、当初予算に副町長分を計上するのが、通常の予算編成ではないのか

議決後、計上する。

副町長として選任されるので、明確に計上するべきでは

2か月間だけ流用する。

行政懇談会の参加人数と回数は。

人数は、10〜35人程度。15区で1回ずつ開催。

頑張る自治区応援プログラム補助金の説明

地域の活性化となる補助対象事業（40万円×16区）。

一般コミュニティ助成事業の内訳

自治宝くじ事業（吉田区の広場フェンス改修工事）

一般廃棄物処理業許可手数料は、一業者なのか

17社分、1件3,000円。

彦根愛知犬上広域行政組合管理費負担金の内訳

紫雲苑の管理負担。

水質調査・排水水質分析委託の内容

水質調査は、6河川、8項目の調査。排水分析は、町内工場、6項目の水質調査。

生ごみ処理業務の内容

BOX回収、清掃、堆肥袋詰め、処理機のメン

テナンスなど。

児童館を月2回は開放しているが、状況は

181人。第2、第4水曜日開催。

未熟児養育医療費の内容

移譲事務。申請・受付・給付決定等の事務。

宅老所等整備運営事業の説明

従来からの施設運営費および新規（石畑区）1件分を計上。

豊郷病院小児科医師確保対策の委託先は

滋賀医科大学と委託契約の予定。

農林水産業費、敷地使料の説明

旧育苗サブセンター内のパイプハウス10棟（@1,000円/棟）、ガラス温室3棟（@7,000円/棟）、農機具保管庫（240円/㎡）、水道施設の電気代（5件分）。

予算特別委員会

3月14日
3月15日

問 認定農家の認定内容および機械リースの範囲は。納しているのか、雑入ではないのか。

答 農業以外に酪農、畜産。5年間の改善計画が必要。機械リースは、農耕用。

問 豊郷町の農地面積は。

答 3,300反。

問 とつと祭事業の主催はどこか。

答 実行委員会方式で豊郷町、商工会、観光協会が主な主団体と考えている。

問 実行委員長は豊郷町長であるべきでは。

答 実行委員会方式の中で、運営の開会の長は、豊郷町。

問 イベント開催事業500千円の内訳。

答 豊郷小学校旧校舎群でライトアップ事業を実施。

問 道路占有使用料が平成24年度に比べ減額された理由。

答 条例改正により使用料が変更になったため。

問 公営住宅の駐車場代1,000円はどこに収

納しているのか、雑入ではないのか。

答 公営住宅使用料に収納している。

問 車を持っていない方からも徴収しているのか。

答 徴収している。

問 各住宅に不用な外灯があるので検討願いたい。

答 精査していく。

問 改良住宅物置撤去工事の内訳。

答 改良住宅の物置撤去工事23戸分およびフェンス設置工事750m。

問 道路橋梁費、用地買収費の説明。

答 町道、石畑四十九院線の歩道設置工事に伴う用地買収費用（豊栄のさと付近。）

問 字要望河川整備事業費の整備場所は。

答 天稚彦神社（高野瀬）の鳥居から境内付近約120m。

問 日栄小学校管理費の修繕料の説明。

答 防犯上、教室の扉の鍵を中からかけられるよう交換分、遊具の塗装など。

質疑終了後、

反対討論、賛成討論の申し出あり

採決の結果、賛成多数

(6-3)で可決

産業建設常任委員会

3月19日

委員名	3/19 出席
西澤清	○
西山	○
前田	○
西澤博	欠席
鈴木	○
佐々木	○
堀	○
河合	○

平成24年度簡易水道会計補正予算

問 簡易水道施設整備等基金積立金の内容。

答 テレメーターが避雷し損害保険料が下りてきた。

質疑終了後、討論なし

採決の結果、全員賛成

(6-10)で可決

平成24年度下水道会計補正予算

問 維持補修費591千円の内容。

答 安食南地先のマンホール周りの補修工事費。

問 下水道維持管理基金積立金の年度末残高は。

答 年度末で51,461,872円(予定)。

質疑終了後、討論なし

採決の結果、全員賛成

(6-10)で可決

平成25年度簡易水道会計予算

問 簡易水道施設整備費補助金の内容。

答 布設替を5年計画で行い、3年目の補助金。

問 公営企業法適用検討業務委託料の内容。

答 公営企業会計化に向けて調査を実施する。

問 水道漏水等待機業務委託料1,200千円の内容。

答 24時間体制(365日)で漏水、破裂時に当番制で3業者に待機してもらい100千円×12か月分。

質疑終了後、討論なし

採決の結果、全員賛成

(6-10)で可決

平成25年度下水道会計予算

問 下水道総合地震対策計画策定業務の内容。

答 下水道の安全確保を図るため地震対策に対する計画を策定する。

問 マルチハザードマップ作成業務とは。

答 雨水対策。県の見直しに基づき再度作成し直す。

問 流域下水道維持管理の不明水の状況は。

答 毎年、接続個数が増え流量が増加傾向であり全体の14%が不明水という状況である。

質疑終了後、討論なし

採決の結果、全員賛成

(6-10)で可決

ズバリ 町政を問う 8名の熱弁

一般質問とは

定例議会において、各議員が町民の代表として、行財政全般にわたり、町の考え方をただすことである。

質問議員	質問内容	ページ
佐々木 康雄	PM2.5 対策はどうか	12
	児童生徒の指導内容は	
西澤 きよただ	ほ場整備地域の老朽化対策は	13
西澤 博一	災害弱者への対応は	14
	体育館の改修計画は	
北川 和利	中山道整備の状況は	15
	高校生の医療費無料化は	
西山 勝	体育施設の使用状況と管理	16
西村 雄三	住民の皆様に生活補助を是非	17
	湖東定住自立圏の更なる取り組み強化を是非	
今村 恵美子	子どもの貧困問題への町支援強化を	18
	放射線測定器設置と学校給食の検査を	
鈴木 べんいち	再び、財務規則違反の責任を町長に問う	19
	身体障害者がおられる全ての家庭に火災報知器は配置されたか	

PM2.5対策は、どうするのか



佐々木康雄 議員

県はメールで注意喚起・本町は何もなし

質問

微小粒子状物質PM2.5による健康への悪影響を防ぐため、大気中濃度が高い日に外出や屋内換気を控える暫定的な指針の骨子案が約130自治体と初の連絡会を2月18日に開いたようです。滋賀県はどの地点で何か所か。また、この辺りはどこか。さらに健康への影響を考えると、学校現場や通学での対応は。

横井教育長

黄砂の影響も県内にもあり、PM2.5など健康被害を引き起こす物質の飛来ニユースがあります。

PM2.5の1日平均70マイクログラムを超える場合、外出を控えるよう注意喚起を環境省が決めました。滋賀県はメールで注意喚起すると決定。

本町は、特に対応を考慮していません。今後、国や県の動向を見ながら検討する。なお、気管支炎や呼吸器に病気を持っている

子どもには、従来どおりマスクやうがいでの励行を呼びかけます。

町長の答弁なし。

再質問

運動する子どもにもマスクの義務化を考えるべきと思うがどうか。観測点の問題は町長の回答がないが、本町は独自で何もないので。

横井教育長

マスクは保護者が考えること。連絡や通知は出します。空気洗浄機等は今後考える。

村田総務企画課長

県内は8か所。県管理は6か所。大津市管理は2か所。彦根局は彦根県立盲学校、東近江局は八日市南高等学校。

児童生徒の指導内容は

子どもの自尊感情を

大切に取る取り組み

質問

豊郷町内の保幼小中では、体罰は皆無と聞いているが、真実はどうか。また、体罰防止のマニュアルの作成と研修はどうするのか。先生による体罰が表面化し、問題化しているが、学校環境面、俗に荒れる学校対策で心配がないのか。

地域と町と学校の全体で開かれた学校づくりはどうか。答弁を。

横井教育長

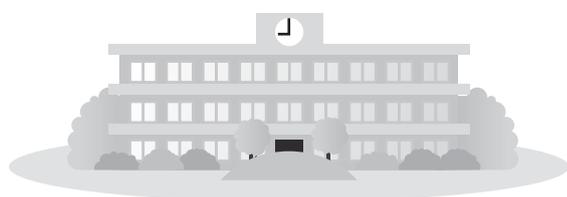
3学期早々に小、中学校の校長に児童生徒に対する体罰の有無、外部からの通報の有無について調査と点検を指示しました。体罰を与

えた教職員はゼロであります。体罰は、学校教育法第11条で「校長及び教員は、教育上、必要があると認めるときは児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない」と定めています。本町は、体罰があるなしにかかわらず、研修を実施する。

荒れる学校対策は町単独支援の先生やカウンセリングによる傾聴等の指導で対応している。

学校に対する協議会等

には地域の声を聞く学校評議委員会があります。風通しの良い、開かれた学校づくりは、それぞれの学校で取り組んでい



ほ場整備地域の老朽化対策は

26年度から実施していく



西澤きよただ議員

質問

圃場整備が実施されてから20年余り経ち水路や畦畔からの水漏れが多く見受けられます。早期に補修しないと一気に補修箇所が増加することになりかねなく、また補修費もかさむ原因にもなります。

土地改良区域内の補修は、受益者が経費を負担して実施するのが基本ではあります。安倍政権になって種々の経済政策を実施されていますが、まだまだ実感は無く、デフレで経済情勢の厳しい折、所得も上がりず経済的には厳しい状況です。

そこで、受益者の負担を軽減すべく土地改良区に補修の補助等の必要があるのではないかと考えます。

町長

本町の圃場整備が完了して、います地区は6地区で、

完了後、20数年経過しており、これは全県下で老朽化している状況であります。そこで、滋賀県では、滋賀県農業水利施設

アセットマネジメント推進協議会を立ち上げ、本町は湖東地域アセットマネジメント検討会に参加しております。現在、県全域で施設のデータ化が進められております。完了後、直ちに中長期計画を策定し、これらの施設の適切な保全と計画的に更新を行い、平成26年度から実施していく予定であります。その計画内容によっては、補助金等を考えていかなければならないと考えています。

再質問

甲良と豊郷が大体20年経過

し、愛荘町の円城寺は30年以上経過し、古いところからやっていくと思っております。そういう中で、雨降野にとりましては、地域が甲良町、愛荘町、豊郷町となっております。早期に出来ないか。

町長

近隣ともきちつと連携をとりながら、豊郷が補助率が低いとかそういうことになってはいけませんので、愛荘、甲良ともどもにしっかりと今の農業情勢の中で、どのような割

再々質問

各地区で保全の会

合の支援をするのか、工事の内容も変わってくるので、見定めた上で、補助金なり交付金なり考えてまいりたいと思う。

町長

水路の補修は、補修材の機材の申し出があれば、提供します。

ができ、土地改良と保全の会の役員が出役して取水口等の水漏れを修理しておりますので、補修資材等を補助できないか。



ズバリ

町政を問う



西澤 博一 議員

災害弱者への対応は

対応をすすめていく

質問

本町でも防災訓練が行われ、昨年自主訓練が行われたところである。高齢者、乳幼児、障害者などのいわゆる災害弱者への対応は、災害時に自ら避難できない方についてあらかじめどのような方がこの施設等にとどのくらいおられるのか、事前把握しておかないと災害時に対応がとれないのではないかと思えます。また、各区において、ひとり暮らし、老夫婦、介護を要する人たちが安全にしなければならぬと思えます。そこで、次の4点について町長に尋ねます。

① 病院、障害者施設などの連携はどうか。

② 災害弱者との各区の

取り組みの課題について。
③ 勉強会の実施および方法は。
④ 防災基金の創設は。

町長

1 点目、次年度に予定しております町防災計画の策定においては、議員が資料として添付いただいております「災害時における社会福祉施設と市町への対応に関する協定書」のように、協力いただける施設と協定を結び、受け入れの幅を広げていきたい。
2 点目、要援護者台帳の整備を引き続き進める。支援を必要とされている方々にとって、一番身近である隣組、自治会

質問

昨年、町民体育館の耐震診断を実施されました。その結果は、どうなのか。建設後二十数年経過し、老朽化していることもあり、体育館、バンガローを含め、改修計画はどのようになっているのか、実施計画を示し、答弁を求め

夏原社会教育課長

耐震結果ですが、建物としては健全に維持をされているということ、良好であるとの耐震結果です。体育館等の改修計画は、経年劣化により屋根の雨漏れおよび床面においてもウレタン塗装が一

体育館の改修計画は

跡地利用も含め検討する

部はがれてきているという状況です。体育館周囲の法面の土留め壁を施工する予定です。また、バンガローにおいては、年間を通じて利用者がいないので、撤去する方向で考えたい。設計段階で跡地利用を含めて検討する。これらを総合的に計画し、25年度の当初予算に設計

委託費として計上している。26年度に体育館改修等、27年度に、武道館の屋根の改修を計画している。



の取り組み方法を整理、整頓、整備されるよう、関わりを持つ考えです。
3 点目は、各字区長を対象としました先進地視察研修会を継続して実施

する。県が主催する自主防災組織研修会に関係者の参加を促し、研修会を通じて各組織の強化に努める。
4 点目、現在は財政調整基金を充てた対応を考えている。今後は、災害時の対応と合わせ、昨年2市と締結しました災害時における相互応援協定による被災市への要請にこ

たえる応急対策および復旧対策に備え、基金の創設を考える。

中山道整備の状況は

集落と合意しだい県に要望



北川 和利 議員



安全対策、だいじょうぶか！

質問

昨年12月議会でも質問しましたが、滋賀県に対し「いつ要望書をだしたのか」、「どのように改修するのか」、「改修時期はいつなのか」 答弁を求めます。

土田地域整備課長

県には口頭で伝えており

質問

まず。集落での合意が整い次第、書面にて要望していきたい。

再質問

12月議会で指摘の、旧校舎群前の居眠り運転での歩道部分が破損事故があったので、県にきつく指導をしていただきたい。

土田地域整備課長

できるだけ早く地元と協

議しまして、一日も早くしていけるよう努力していきたい。

高校生の医療費無料化は

検討に入れる状況にない

質問

高校を卒業するまでに教育費や医療費に多くのお金が必要となり、家計を圧迫していることも否めないと認めます。高校に行くことは、ほぼ義務教育化されていると言っても過言ではありません。高校卒業まで医療費無料化を他市町村よりも先駆けて実現を求めているのか。答弁を求めます。

町長

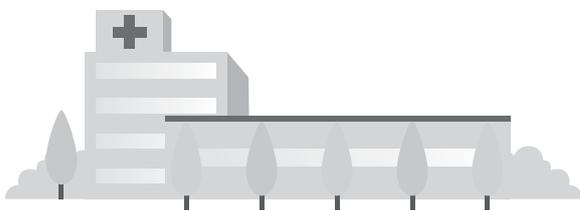
小学生まであった対象範囲を中学生まで拡大して医療費を無料とする、子育て応援医療費助成制度

再質問

今すぐでなくとも、何とか高校生までの無料化について、一度検討を。

町長

なかなか今すぐ検討に入れる状況ではない。



ズバリ

町政を問う

体育施設の使用状況と管理



西山 勝 議員

排水対策等を含め改修を考えている



質問

本町のグラウンドゴルフ場は、福祉空間整備交付金制度により、工事費2,400万円で事業化されて、町内の高齢者の方や地域の方々が気楽に利用され、交流を深め、健康増進を図り、日々利用されており、季節によりますが、利用者は異なりますが、現状の利用率は

どれほどか。年会費・使用料を払い利用されている人数区分は。また、町外のグラウンドゴルフ場と天候条件が同じときに比較すると、本町のグラウンドは水引きが悪く、コースが回れなく、芝生が浮き上がっているのが現状です。地盤改良や芝生の張り替え等の要望が利用者の方から

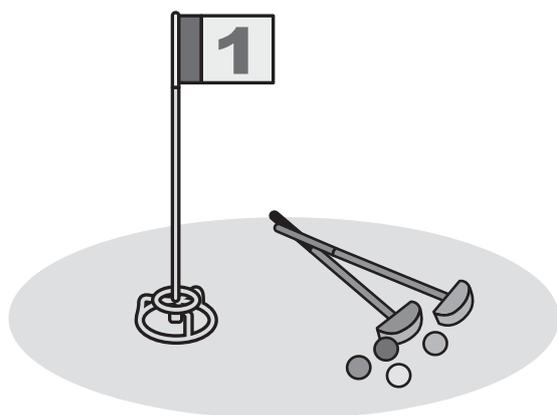
あり、アザックとよさとに管理委託料1,543万8,000円を支払っているが、管理の範囲の説明を求める。

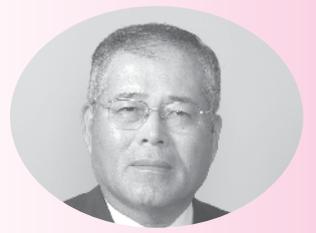
夏原社会教育課長

11か月間の平均年会費利用者が83人、毎回支払っている利用者が40人、地盤の問題は、施工時より

水引きの悪い地盤の所に設置をいたし、傾斜や起伏等を設け、対策をしてみました。完成当時より悪くなっております。利用者も増加している現在、多くの方々に快適なプレイをしていただくため、アザック、指定管理者と教育委員会と協議をいたし排水対策等を含め、改修をしてまいりたいと

考えている。





西村 雄三 議員

住民の皆様へ生活補助を是非

ばらまき施策にならない

検討課題

質問

昨年末に衆議院選挙が行われ、自由民主党が3年ぶりに政権に返り咲き、安倍政権が出来最初に取組んだのが経済再生です。デノミからインフレターゲットに舵を切り実質インフレ率2%を目標に掲げ、3本の矢、金融緩和、財政出動並びに成長戦略の矢で何とか経済成長を図ろうとしています。私も当政策に賛意を表しますが、困った事に地方経済はというとその恩恵に与るのは恐らく1年ぐらい先になります。物価の値上がりが始まり住民の皆様様の生活を苦しめると思いますが、エネルギー、資源、食品の値上げが始

まります。私は行政に対して住民の生活に少しでも生活の糧になる政策が必要だと思いますので地域振興券を発行するか、又期間限定の住民税の減税を図る条例提出するとか策は色々有りますが、要は住民の生活を守るを基本に考える政策が大事です。是非平成25年度予算の中で実行願いたい。

町長

当経済施策が日本経済の再生に繋がり、地方経済を押し上げ町民の生活が良くなることを望んでいます。地域振興券の発行については、実施もやぶさかではない旨の答弁をし

てまいりました。その他の現況を考えるとばらまき施策にならないよう慎重に対応致します。又期間限定の住民税の減税措置との提案ですが、本町の財政状況は依然と厳しく平成25年度の当初予算での歳入総額に占める自主財源比率は約40%です。その状況下での減税を検討する環境に無く困難と考えます。

再質問

当2提案は住民の生活を助ける事が大きな目標です。当町の滞納の問題があります。この問題さえ解決すれば実行が出来ると思っています。

町長

滞納処理は一生懸命当たっており、法に基づいて滞納整理に当たっております。減税の件ですが平成25年度当初予算で交付金2億4,000万円計上、国及び県に特別交付税をお願いしている中で町税の減税は取れない状況です。

湖東定住自立圏の更なる取り組み強化を是非

共生ビジョンを毎年見直して推進する

質問

当協定の締結も早4年目に入りました。3政策分野で色々頑張つて頂き住民の皆様へ恩恵を与えて頂き感謝いたします。さて当協定も残り1年を残すのみとなりました。協定の継続を当然されると思いますが行政の考えは。

村西政策調整主監

今後も彦根市を中心に町造りを推進していく事で豊郷町の更なる発展につなげたいと考え、継続して協定を推進していく。

再質問

1市4町が手を取り合っ

村西政策調整主監

各分野で地に着いた形で広域的な状況で進めて参りたい。

ズバリ

町政を問う

子どもの貧困問題への町支援強化を



今村 恵美子 議員

今後の検討課題です

質問

我が国では子どもの貧困が広がっています。豊郷町の就学援助受給人数は、全国平均より高い状況です。親の貧困が子ども達に引き継がれる貧困の連鎖を断ち切るためには、公的支援の充実が不可欠です。そこで、低所得子育て世帯に対して、

- ① 就学援助基準の町上乗せ支援の実施。
- ② 生活保護世帯の中学生に対する無料の個別進学指導を実施する。
- ③ 高校大学進学支援として町奨学金制度を設ける。

以上3点について町の見解を。

高橋教育次長

①就学援助制
度の該当者は、小中学校で現在103名いて、16.4%となっています。以前より犬上3町の申し合わせで援助費の基準を決めており、改正は考えておりません。②保護世帯

の生徒には、十分な進学指導体制を整えています。③高校授業料が無料化になっているので、町の就学資金制度は考えていません。

再質問

豊郷町の就学援助基準

は生活保護基準の1.2倍ですが、全国では1.8倍までやっている自治体もあります。また、国の援助基準にあるクラブ活動への援助費の拡充を求めます。そして、貸与制ではなく給付制の町奨学金制度を子育て支援として取り組んでほしい。

高橋教育次長

クラブ活動費補助、高校大学奨学金制度ともに検討していきま

放射線測定器設置と

学校給食の検査を

現状でいきます

質問

原発事故に対する備えとして、放射線量計の設置と学校給食食材の放射線検査体制をつくる。また、ヨウ素剤の確保も進めて

学校給食会、また近隣市町と連携し対応していきます。

村田総務企画課長

放射線量計の設置でございしますが、測定する機器により数値に差異があり、町は県が彦根市に設置しているモニタリングポストの数値に注意しています。安定ヨウ素剤の確保については、今後の国、県の動向を見て判断していきます。

村田総務企画課長

購入については、もう少し考えていきたいと思

横井教育長

県内数か所で行っている環境放射線モニタリング観測結果は日常生活に影響ないと出ています。学校給食食材の放射線検査体制は、県の

再質問

保護者の願いとして学校給食食材の放射線検査の要望もあります。また、町に放射線測定器を設置



鈴木べんいち議員

再び、財務規則違反の責任を町長に問う

町長より、答弁なし

質問 再び、財務規則違反の責任を問います。12月議会の私の質問で町の財務規則に違反する支出があった事が判明したが、総務主監は「再三、指導してきたが守られなかった」と答弁。町長も「それぞれ、課長、主監、私の決裁範囲で進めている」とあたかもその責任が担当課にだけあるような答弁をしたが、豊郷町財務規則第11条には「主管課長は指定された期日までに年間の予算執行計画を財務主管課長に提出しなければならない」「財務主管課長は、その内容を審査し、町長の承認を受けなければならない」「予算執行計画を変更する場合にも準用する」ともあり、財務主管課長、町長

の責任は明白だが、見解を問う。

西山総務主監

各管理職員に豊郷町財務規則を熟読し、同規則による予算執行を強く指示した。

再質問

再質問いたしますが、最初に、私は町長並びに財務主管課長の責任を糺しましたが町長から答弁がなされなかった事は不満で

西山総務主監

電算機器の導入により、この財務規則が制定された時期と少し事務の内容や環境が異なっております。(ご指摘の財

ある事を申し上げておきます。先ほど、財務規則に規定されている第3四半期までの予算執行状況の資料提出を求めたが、なぜ、資料の提出がされないのか。

再々質問

今の答弁そのものが財務規則違反ではないか。

質問

この問題について過去2度質問しました。

2012年の3月議会の回答は「未設置の世帯は20世帯で、日常生活用具給付事業(以下、「事業」)を弾力的に運用して対応したい」というものでしたが、その後どう対応したのか、明らかにされたい。

神辺保健福祉課長

まずこれまで、具体的に取り組みが進められていなかった事を対象の皆様に対して併せてお詫びしたい。20件のうち、既

(なお、町長より責任問題についての答弁はありませんでした。)

西山総務主監

ご指摘いただいているこの規則に現状が合っていない、という事については私も改めていかなければならないと考えております。

に設置済みが2件、障害をお持ちの方がお家におられなくなったのが2件で残り16件のうち、「事業」対象世帯は12世帯で、残りの4世帯は「事業」の対象ではないと考えられます。今回、該当すると考えられる世帯にお知らせをしたい所でしたが、本日までに出ておりませんので、早急に制度案内をしたいと思っております。

残りの4世帯についても、「弾力的な運用を図って行きたい」という町の考えを示しており、同様の対応が取れるように進めて行きたい。



町長室

身体障害者がおられる全ての家庭に火災報知器は設置されたか

残る対象世帯に、早急に制度の案内を

ズバリ

町政を問う

改良住宅譲渡事業の研修を実施

「住民の理解を得ることが重要」

去る、3月26日に議会活動の一環として近江八幡市役所に行政視察研修を実施しました。

内容については、「改良住宅譲渡推進事業」の取り組みについての説明を受け、その中で譲渡基本方針の策定、平成22年6月に「譲渡基本計画」を策定し、平成22年度から平成31年度までの10年間を譲渡年度に定め分離補償金、延納制度の創設、固定資産税等の減免措置を講じているとの説明がありました。しかし、改良住宅については、一言でいい表すことができないと思います。一番重要なことは、住んでおられる住民の方々の生活環

境、立場、高齢者等の意見や思いを十分にくみ取らなければならぬと思われました。また、地元説明会、個別訪問で購入意思、経済状況、家族構成や生活保護者等の住民さんに対して謙虚な気持ちで対応を重ねながら、ご理解をいただくために丁寧な説明が一番重要だと感じました。また、質疑については、

- ・ 処分の進捗状況で、片側の建物はあったのか。購入の年齢層はどうか。
- ・ 地図訂正は、地区内か、地区外か。
- ・ 分離工事は、市で行っているのか。
- ・ 物置について分離できない方は市が代わって

行うのか。など質問をされました。当町議会は、研修を行ったことを参考にしな

がら、住民に配慮し、より一層改良住宅の解決に取り組む決意でいきたいと思えます。



近江八幡市において研修中

編集後記

つい先日まで雪が残っていた山々も、気が付けば新緑の鮮やかさ一色となつてまいりました。一年を通して、その季節の色を楽しませてくる山々。心の癒しとしては最高のシーンではないでしょうか。

世の中もまさにその通り。めまぐるしく変わるその時代の色。私たちは、その色におし流されるのではなく、うまくその色を楽しみ活用していきたいものです。もちろん人それぞれにも色はあります。それぞれの色を大切に、また混ぜ合わせながら鮮やかな色ができるよう、これからも皆さんとともに進みたいと思えます。

(前田 広幸)



- 発行責任者 堀 常一
 議長 堀 常一
 広報特別委員会
 委員長 西村 雄三
 副委員長 西澤 博一
 委員 佐々木 康雄
 西澤きよただ
 前田 広幸